

咽頭結膜熱（プール熱）

Q.1 咽頭結膜熱とは どのような病気ですか。

- アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。
- プールを介して流行することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。
- 通常、6月ごろから徐々に流行しはじめ、7～8月にピークとなります。

Q.2 咽頭結膜熱にかからないためには どうすればいいのですか。

- 流行時には、流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。
- 感染者との密接な接触は避けましょう（タオルなどは別に使いましょう）。
- プールからあがったときは、シャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。

Q.3 咽頭結膜熱にかかったら どうすればいいのですか。

- 特別な治療法はありませんが、ほとんど自然に治ります。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談してください。

国立感染症研究所感染症情報センターでは、ホームページ上で、咽頭結膜熱について解説していますので、こちらもご参照ください。

アドレス http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_14.html